

◎ 寺子屋サロン(浄土真宗基礎講座)：毎月28日 13時半～15時

◎ 死別の分かちあいの集い：13時～15時

・夫を亡くした方：毎月第1土曜日(3/5・4/2・5/7・6/4・7/2)

・自死遺族の方：毎月最終土曜日(3/26・4/30・5/28・6/25)

当事者の方々の分かちあいの集いです。たまに住職も参加します。

◎ ヨガ：毎月第2・4月曜日 10時30分～11時30分

初回1,500円(5回券6,500円)で、「広島市高齢者いきいき活動ポイント」対象です。お問い合わせは、下記宛にメールください。

« terayoga-hiroshima@vysyogi.com »

◎ 水引細工講座：毎月第4水曜日 13時～15時

3月はお彼岸中なので休会、次回は4/27です。 参加される方は超覚寺までご連絡ください。ハサミと材料費が必要になります。

◇ 報告・連絡・“僧”談

・超覚寺の法要・法座に参詣された方には、阿弥陀如来にお供えしたお餅をお下がりとしてお渡しています。昔から超覚寺では衛生面を考慮して真空パックにしていますが、國らずもコロナ対策になっています。今回の春季彼岸会はヨモギ餅にしています。

・来年2023年春に東本願寺にて、宗祖親鸞聖人御生誕850年・立教開宗800年慶讃法要が勤まります。全国から参拝者を予約制で募りますが、広島からも大谷派寺院25カ寺が合同で団体参拝を計画し、160名の枠は確保できました。一泊二日で、京都国立博物館と西本願寺にも参ります。関心のある方はどうぞご連絡ください。

・今年もカープ団体観戦を約30試合ほど予約を申し込みました。確率が上がるよう、いろいろな席を10席ずつで申し込みましたが、それでも何席当たるか全く分からず。春季彼岸会にて結果を公表し、当たったチケットの申し込みを受け付けます。乞うご期待を！

発行人：超覚寺住職 和田隆彦(釈隆恩) (*--*)人 ① 合掌

2022年3月春 超覚寺報 第51号

【ノハヂ屈だより】



超覚寺



淨土真宗(真宗大谷派・東本願寺)

林鷲山燒西院 超覚寺

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI

[since 1619, 元和5]

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : <http://www.namuamidabutsu.com>

<http://mytera.jp/tera/48chokakuji>

超覚寺 春の法要のお知らせ

慈光のもど、平素は様々にお世話になっておりますこと、ありがとうございます。
さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますが、
コロナウイルス対策をし、3密に充分に配慮しますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<-->

◎ 2021年 春季彼岸会法要

3月19日(土) 13時～ 勤行：住職

13時30分～(休憩)～15時

高座(節談)説教：祖父江佳乃師
今年も、人気布教使の祖父江佳乃師(愛知県名古屋市有隣寺
住職)にご出講いただきます。私か家族か祖父江先生が感染し
ない限り開催します！ 皆さまもご自愛の上お参りください。

◇集合写真の勧め

ご法事にて皆さんで集合写真を撮りませんか？ スマホをお借りして、阿弥陀さまの御前で住職が撮影します。

- スマホ撮影のメリットは、
- ① 写真を転送するためのLINE交換等が自然にできて、その場が和みます。お参りできなかつた親戚にも報告できます。
 - ② いざという時の遺影の候補として使えます。遺影のことは誰しも念頭にあるのに、いざという時に遺影に適した写真が見つからないものです。私の実父の場合も数ヶ月前から分かっていたのに適当な写真を探しておらず、結局4年前にスマホで撮った写真のデータを葬儀社に転送しました。高齢の男性は特に写真が少ないので、ご法事は写真を撮る絶好の機会になります。
- 遠方の方は、どうぞ下記口座をご利用ください。
【ゆうちょ銀行 15190-55770601】
他金融機関から、ゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、
次の内容をご指定ください。
- 【名義】チヨウカクジ
【店名】五一ハ(読み ゴイチハチ)
【店番】518 (普通預金) 5577060

◇寺業報告

・2022年1月1日：修正会 今年最初の法要。のべ34名がお参り

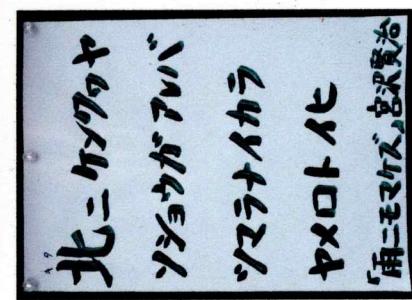
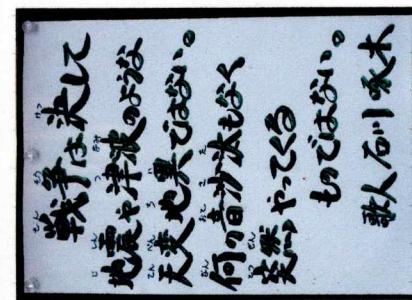
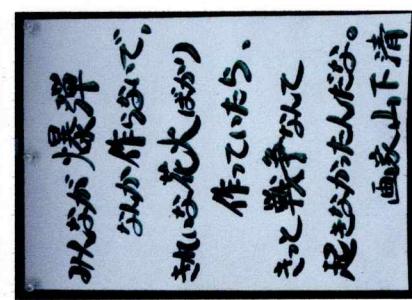
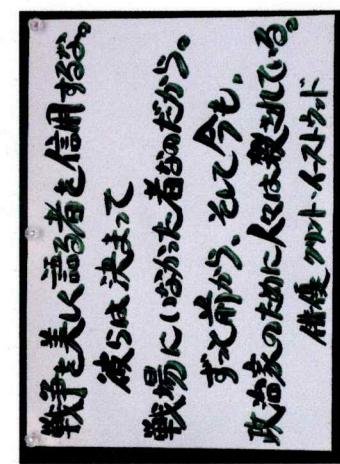
くださいました。法要の時間以外でも本堂を解放していたので、多くの方々がお参りくださいました。お陰さまで、住職・坊守も大病無く、子どもたち6人も、ケンカしつつも健やかに育ってくれています。



今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

◇ 非核非戦

平和を脅かす非常事態が起きました。一僧侶にできることは知れていますが、仏教徒としての想いを著名人の言葉に託して連日お寺の掲示板に掲げました。



◎ 花まつり(糸尊降誕会)

4月8日はお釈迦さまの誕生日です。超覚寺では4月の1日から8日まで、門前に花御堂を設置します。その花御堂には誕生仏(生まれたばかりのお釈迦さま)がお供えしており、そこに甘茶をかけてお祝いします。

どうぞお参りの際には、その誕生仏に甘茶を注いでください。また記念品を置いていますので、お好きな物をお取りください。

◇ 2022(令和4)年の御法事をご確認ください。

- 2021(令和3)年: 1周忌 • 2020(令和2)年: 3回忌
- 2016(平成28)年: 7回忌 • 2010(平成22)年: 13回忌
- 2006(平成18)年: 17回忌 • 1998(平成10)年: 25回忌
- 1990(平成2)年: 33回忌 • 1973(昭和48)年: 50回忌

お勤めは、ご自宅でもお寺でも大丈夫です。御命日が近づいても予約の連絡の無い場合には、ハガキや寺報にてご案内いたします。念のため、境内通路脇の案内板に該当者名を掲示していますので、お墓参りの際にご確認ください。年回の御法事が無い方も、**月命日・祥月命日・お彼岸・お盆**には、お墓やお寺の阿弥陀様にお参りしましょう。階段がつらく2階本堂まで行き難い方は、1階の仏間でも御法事ができます。境内駐車場も7台までは大丈夫ですが、満車の時は近隣のコインパーキングをご利用ください。御法事に掛かる時間は、読経から法話まで約30分です。複数の御法事を続けてお勤めする場合は約15分ずつ時間が延びります。**小さいお子さまにどうでも大切な御法縁**になりますから、ぜひ同席くださいましたし。勤行中におとなしくなくとも大丈夫、それも故人さまへの御供養です。お寺での御法事は、ゆっくりお参りただけるよう間に余裕を持たせて、開式时刻は**10時・11時半・13時・14時半**にしております。予約状況によっては時刻の変更も可能です。その他ご不明の点はどうぞ何なりとお問い合わせください。

◇お彼岸について（本願寺新報寄稿文より加筆修正）

お彼岸の当日は太陽は真西に沈みます。「彼岸」とは、阿弥陀如来の世界、西方極楽淨土の別称です。「彼岸」の原語であるインドの言葉「ノーラミター」は、元々は「最高であること」という意味でした。それが「中国に伝わる際に、「修行し、覚りに至る」という意味合いで「到彼岸」（かの岸に到る）と訳されます。後に「到」の字が略され「お彼岸」と親しまれるようになりました。

「彼（かれ）」という字を辞典で調べると「遠称」とあります。遠称とは「離れた人・場所などを指し示す」言葉。さらに「彼」には、単に距離の隔たりを示すだけでなく、距離をもつて敬いを表す「敬称」としてのニュアンスも含むそうです。

『仏説阿弥陀経』には「彼（かれ）」という文字が「17回」も登場します。「かの仏」「かの国」。お釈迦さまが「かの」「かの」「かの」と、重ねて阿弥陀如来とその世界について示されたのは、遠い世界についてお説きくださるというだけではなく、「この上なく優れた仏さま、その世界があなたのためにあるのです」と讀え示してください」と味わえます。

『仏説阿弥陀経』には、淨土までの距離が西方に「十万億仏土」と示されています。果てしない距離をもつて示されているのは、阿弥陀如来のはたらきの尊さと大きさです。そしてその大きさは、私の抱えている煩惱の大きさ、悲しみや苦しみの深さとピッタリと合わります。私は今、淨土から最も遠くにありながら、同時に阿弥陀如来のはたらきの真ん中にあるのです。

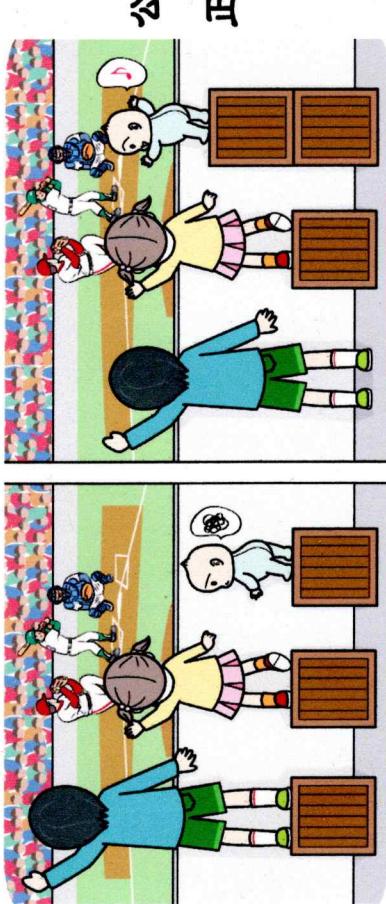
広島真宗学寮初代学頭であられた高松悟峰和尚が、ある法要に出向された時のこと。一席目の最後に「この中に一人、地獄ゆきが決まっている者がいる」とおっしゃられ休憩に入られました。聴聞者はざわざわきます。そして二席目「この中に一人、淨土ゆきが決まっている者がいる」と語られたのです。その「一人」とは、ともに私のノ

こと。地獄ゆきの私が、上書きされて淨土ゆきの私になるのではありません。そのままの教わると示されたエピソードです。

お淨土は終着点ではありません。かの国に往き生まれた者は覚りの諸仏となり、この悲しみ、苦しみ多き世界に還つくるのです。そう聞かせていたらしく、かの国が親しみ深く思えます。

10年ほど前、児童心理の授業を聴講した時のことです。先生は授業の中で「親は子に対し平等でしようか?」と受講者に問われました。例に出されたのが3人兄弟のケース。「一人目の子と接する時間は100%とすれば、二番目の子は60%まで減ります。では三番目の子の場合はどうでしようか?」私は「40%程か…」と推測しました。ところが先生は「三番目の子へは100%に戻ります」とおっしゃったのです。衝撃的でしたが、なるほどとも感じました。

親鸞聖人が『涅槃經』から引用されたお言葉の中に「七子のたとえ」があります。仏さまの慈悲を、親心にたとえたお話です。七人の子がいて、その中の一人が重き病になれば、親の思いは一人子のように、重き病の子に全て注がれます。一般には「同じだけ与えられることが平等」と考えます。そうではなく「アミダさまの大慈悲が本当の意味で平等なのは、重き病の一人子を救わんとする公正さにこそある。この重き病の子とは私のことなのだ」と親鸞聖人はいただかれたのです。



平等

公正